

研究管理番号	201904-004
実施診療科	外科・腹腔鏡外科センター
作成日 版数	2019年3月12日 第1版

研究のご案内

この研究は掲示のみで、患者さん個々からの同意を頂かなくても良いとされております
研究への利用を希望されない方は、下記お問い合わせ窓口までご連絡下さい

当院における 腹腔鏡下鼠径部ヘルニア修復術（TAPP法）の 治療成績

①目的

当院における腹腔鏡下鼠径部ヘルニア修復術(TAPP法)の治療成績を集計します
公表されている他施設の治療成績と比較し、当院における腹腔鏡下鼠径部ヘルニア修復術(TAPP法)の優れている点・劣っている点を明らかにします

②試料・情報の利用方法

2012年12月1日～2018年12月31日に、当院外科・腹腔鏡センターにて腹腔鏡下鼠径部ヘルニア修復術(TAPP法)を受けた方を対象とし、過去の診療情報を用いて、患者背景・手術時データ・周術期合併症などの情報を収集し、鼠径部ヘルニア患者の特徴・当院の手術成績(全体・経時的変化)について解析・検討します

③研究実施期間

臨床研究審査委員会承認後～2020年12月31日

研究管理番号	201904-004
実施診療科	外科・腹腔鏡外科センター
作成日 版数	2019年3月12日 第1版

④利用・提供する情報

研究対象者背景

研究対象者識別コード、生年月、年齢、性別、既往歴、併存疾患、PS(ECOG)、身長、体重、血圧、脈拍、体温、酸素飽和度、鼠径部ヘルニアの位置・大きさなど

臨床検査

血液学的検査(血算・生化学・凝固)など

画像診断

腹部単純X線、腹部エコー、腹部単純(造影)CT など

周術期データ

入院期間、HCU 在室期間、周術期合併症、術前診断、術後診断、執刀医、助手、手術時間、麻酔時間、出血量、水分バランス、手術動画、修復機材など

⑤個人情報の管理

個人情報漏洩を防ぐため、群馬済生会前橋病院においては、個人を特定できる情報を削除し、データのデジタル化、データファイルの暗号化などの厳格な対策を取り、第三者が個人情報を閲覧することができないようにしております。また、本研究の実施過程及びその結果の公表(学会や論文等)の際には、患者さんを特定できる情報は一切含まれません

⑥利益相反に関する事項

この研究において利益相反はありません

お問い合わせ窓口

臨床研究責任者：西川 達也(群馬県済生会前橋病院 外科・腹腔鏡外科センター)
所在地：〒371-0821 群馬県前橋市上新田町 564-1
TEL：027-252-6011(代表)